

★：特設サイトにて音源公開中

*職位は当時のもの

年・月	カテゴリ	日	タイトル	学部	職位	担当者	音源データの有無
2003年4月	フランス文化入門			商学部	教授	橋本順一	
		4日	フランス映画今と昔	商学部	教授	橋本順一	×
		11日	ハタ・ワスケー世紀末のフランスに渡った庭師	商学部	教授	鈴木順二	×
		18日	フランスの建築と美術	商学部	専任講師	田上竜也	×
		25日	日本生まれのフランス寓話誌	商学部	助教授	高山晶	×
5月	性を考える			文学部	助教授	金子洋之	
		2日	性とは？				×
		9日	人間の性決定				×
		16日	いろいろな生き物の性決定				×
		23日	性のオリジン				×
		30日	まとめ				×
6月	デフレ			経済学部	教授	竹森俊平	
		6日	デフレ①				×
		13日	デフレ②				×
		20日	デフレ③				×
		27日	デフレ④				×
7月	中国の安全保障と中国人民解放軍			法学部	助教授	安田淳	
		4日	中国を取り巻く安全保障環境				×
		11日	中国人民解放軍 (1)				○
		18日	中国人民解放軍 (2)				○
		25日	今後の東アジア情勢と日本の対応				○
8月	中国文化あれこれ			商学部	専任講師	櫻庭ゆみ子	
		1日	胡錦濤体制と現代中国	商学部	助教授	段瑞聡	○
		8日	中国のファッション誌の現状及びその成り立ちについて	商学部	講師	張丹	○
		15日	景德鎮古陶磁にまつわる話	商学部	講師	飯田敦子	○
		22日	老舎-その人と人生	商学部	講師	斉霞	○
		29日	ポーダレス時代の作家-巖歌茶	商学部	専任講師	櫻庭ゆみ子	○
9月	ドイツ文学研究事情			文学部	助手	平田栄一郎	
		5日	文化研究事始-ドイツ文学と文化研究	文学部	助教授	大宮勘一郎	○
		12日	風景としての自然-ドイツ近代文学と自然	文学部	助教授	斎藤太郎	○
		19日	文学からの離反-ゲオルク・フックスの演劇革命を例に	文学部	助手	平田栄一郎	○
		26日	言語の力とはなにか?-ドイツ語学習を例に	文学部	助教授	中山豊	○
10月	ラテンアメリカの音楽			経済学部	助教授	石井康史	
		3日	先住民の音楽 ヨーロッパ系音楽 (1) (キューバ、メキシコ)	経済学部	助教授	石井康史	○
		10日	ヨーロッパ系音楽 (2) (ブラジル、アルゼンティン)	経済学部	助教授	石井康史	○
			メキシコ・ペルーのポピュラー音楽				○
		17日	アフリカ系の儀礼音楽	経済学部	専任講師	工藤多香子	○
		24日	アフリカ系のポピュラー音楽	経済学部	専任講師	工藤多香子	○
	31日	ラテンアメリカの音楽と社会	経済学部	助教授	石井康史 (共同討議)	○	
			経済学部	専任講師	工藤多香子		
11月	コミュニケーションと社会			法学部	助教授	井上逸兵	
		7日	対人関係を構築することば-上司に頼みごとをする方法-				○
		14日	解釈の枠組みを生み出す合図-「おでかけですか?」はプライバシーの侵害か-				○
		21日	スタンス指標の二義性-「結構です」っていいの?わるいの?				○
		28日	会話の社会的特性-「ラーメン二郎」の注文のしかた-				○
12月	音楽をめぐるさまざまな世界			商学部	名誉教授	荒井秀直	
		5日	映画の中のオペラ『ゴッドファーザー』と『アンタッチャブルズ』				○
		12日	政治に翻弄された音楽 ドイツとソヴィエトの場合				○
		19日	音楽によって描かれた自然 ドイツの森				○
		26日	詩と音楽の共同作業 ゲーテとモーツァルト				○
2004年1月	谷口吉郎とイサム・ノグチ-慶應義塾の近代建築/モダン・アート						
		2日	第二次世界大戦後の世界にみる近代美術	文学部	教授	前田富士男	○
		9日	谷口吉郎と三田キャンパスの戦後復興計画	アートセンター	助手	柳井康弘	○
		16日	イサム・ノグチと慶應義塾	アートセンター	助手	柳井康弘	○
		23日	新萬來舎-室内と庭園の空間デザインを体験する	アートセンター	助手	柳井康弘	○
		30日	新萬來舎の移設をめぐって-芸術空間の保存問題	アートセンター	助手	柳井康弘	○

★：特設サイトにて音源公開中

*職位は当時のもの

年・月	カテゴリ	日	タイトル	学部	職位	担当者	音源データの有無
2月	開発の新しい考え方			経済学部	専任講師	大平哲	
		6日	経済中心の豊かさ概念				○
		13日	代わりの見方				○
		20日	人間開発指数				○
		27日	参加と自立				○
3月	アメリカ社会と人種			法学部	助教授	奥田暁代	
		5日	「人種」が意味するものと異人種間婚				○
		12日	奴隷制度補償を目指す訴訟運動の可能性				○
		19日	アフーマティヴ・アクション裁判の意義				○
		26日	軍隊におけるマイノリティ兵士の増加				○
慶應義塾の時間「入門講座」(月～木)			消費者取引と法—自律・成熟した市民としての消費者へ—	法学部	助教授	武川幸嗣	
2004年1月	20日	火	何が、なぜ問題となるのか①—不当勧誘—				○
	21日	水	何が、なぜ問題となるのか②—不当条項—				○
	22日	木	法律はどうなっているか① 民法(1)				○
	26日	月	法律はどうなっているか② 民法(2)				○
	27日	火	法律はどうなっているか③ 特定商取引法				○
	28日	水	法律はどうなっているか④ 消費者契約法(1)				○
	29日	木	法律はどうなっているか⑤ 消費者契約法(2)				○
2月	2日	月	自律・成熟した市民としての消費者へ				○
慶應義塾の時間「入門講座」(月～木)			身体表現と文化—舞踏を例として	文学部	教授	宮坂敬造	
2月	3日	火	身体表現と文化	文学部	教授	宮坂敬造	○
	4日	水	身体表現としての舞踏(1)	アートセンター	訪問所員	森下隆	○
	5日	木	身体表現としての舞踏(2)	アートセンター	訪問所員	森下隆	○
	9日	月	舞踏の記録とアーカイヴ(1)	アートセンター	訪問所員	森下隆	○
	10日	火	舞踏の記録とアーカイヴ(2)	アートセンター	訪問所員	森下隆	○
	11日	水	対談 身体表現者とジェンダー	舞踏家 文学部	教授	小林嵯峨 宮坂敬造	○
	12日	木	対談 舞踏と異文化接触	舞踏家 文学部	教授	和栗由紀夫 宮坂敬造	○
	16日	月	グローバル時代と身体表現	文学部	教授	宮坂敬造	○
慶應義塾の時間「入門講座」(月～木)			入門講座—スペイン・ラテンアメリカ研究入門				
2月	17日	火	総論「ラテンアメリカ地域と3つの場」	経済学部	教授	清水透	○
	18日	水	「インディオ文化の創造力」	経済学部	教授	清水透	○
	19日	木	スペインとラテンアメリカ(1)	経済学部	助教授	八嶋由香利	○
	23日	月	スペインとラテンアメリカ(2)	経済学部	助教授	八嶋由香利	○
	24日	火	ラテンアメリカにおけるメディア(1)	経済学部	助教授	石井康史	○
	25日	水	ラテンアメリカにおけるメディア(2)	経済学部	助教授	石井康史	○
	26日	木	キューバ革命と伝統文化(1)	経済学部	専任講師	工藤多香子	○
3月	1日	月	キューバ革命と伝統文化(2)	経済学部	専任講師	工藤多香子	○
慶應義塾の時間「入門講座」(月～木)			詩人外交官ポール・クロードル —日仏交流史の一側面	法学部	専任講師	大出敦	
3月	2日	火	クロードルとは誰か?				○
	3日	水	日本はクロードルをどのようにとらえていたか?				○
	4日	木	外交官としてなにをなしたか?(1)				○
	8日	月	外交官としてなにをなしたか?(2)				○
	9日	火	詩人の視点からにほんを見てみると(1)				○
	10日	水	詩人の視点からにほんを見てみると(2)				○
	11日	木	クロードルが得たもの				○
	15日	月	クロードルが残してくれたもの				○
慶應義塾の時間「入門講座」(月～木)			中世～近世初頭の日本と東アジア世界	文学部	助教授	中島圭一	
3月	16日	火	港町の盛衰				○
	17日	水	渡来銭の流通				○
	18日	木	対外交易に携わる人々				○
	22日	月	列島の南と北—琉球と蝦夷地				○
慶應義塾の時間「入門講座」(月～木)			キリシタンの時代の日本と中国	文学部	助教授	浅見雅一	
3月	23日	火	大航海時代と日本				○
	24日	水	イエズス会の日本布教				○
	25日	木	国際都市長崎				○
	29日	月	明末清初のキリスト教				○
慶應義塾の時間「入門講座」(月～木)			文献探索法入門	文学部	教授	高山正也	
3月	30日	火	文献と図書館の世界				○
	31日	水	学術研究と文献				○